



ID: 1191

科目名	教育心理学【26年度生用】			コード			
英語表記	Educational Psychology						
担当教員名	福田 廣・福田 みのり			年度	平成26年度		
基準年次	1年次	開講期	前期		単位数	2	
授業形態	講義	授業形式			履修形態	選択	
授業概要							
学校、家庭、社会における様々な教育的営みを心理学的にとらえたり、そのようなデータを概観するとき、どのようなことに注意しなければならぬのかについて論考し、教育の諸問題を心理学の視点から分析検討する。健常児童・生徒と共に障がいのある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程について随時論じる。							
到達目標							
教育心理学の基礎的用語を理解し、教育現象のデータについて適切な結論を導くことが出来る。また、関連する教育の諸問題について文献を精査することが出来る。							
授業計画							
第1回	教育心理学とは(福田 廣担当)						
第2回	教育に関する事象・現象の心理学的解明(福田 廣担当)						
第3回	人間の発達の特質(福田 みのり担当)						
第4回	児童期の発達の理解、障がいのある児童の発達(福田 みのり担当)						
第5回	青年期の発達の理解(福田 みのり担当)						
第6回	知識の獲得・理解(福田 廣担当)						
第7回	学習の動機づけ(福田 廣担当)						
第8回	学習指導法、障がいのある子どもへの指導(福田 廣担当)						
第9回	他者との相互作用(福田 みのり担当)						
第10回	教師と子どもの関係(福田 みのり担当)						
第11回	個性理解 -知的側面-(福田 みのり担当)						
第12回	個性理解 -情意的側面-(福田 みのり担当)						
第13回	カウンセリング・生徒相談(福田 みのり担当)						
第14回	教育測定(福田 廣担当)						
第15回	教育評価(福田 廣担当)						
評価方法と基準			評価項目と割合(%)				
発表や提出物(授業態度)ならびに期末試験を全て点数化し、総合的に評価を行う。			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
				15%	25%	60%	
授業外学習			テキスト、教材				
講義で学習したことを実際の教育実践においても反映することができるよう、レポート等の課題を課す場合がある。			心理学からみた教育の世界 藤土圭三(監) 1994 北大路書房				
参考書			受講生へのメッセージ				
なし			これまでは自分たちが受けてきた「教育」というものについて、心理学の視点からとらえることができるようになることを望む。積極的な受講態度を期待する。授業中、授業後の質問は大いに歓迎する。				
キーワード							
学習理論, 記憶, 学級集団, 発達, 教育制度							